

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 10月  
令和2年10月1日の推計人口 1,310,660人  
世帯数 560,938世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、  
世帯数：560,720世帯

### 1 推計人口

令和2年10月1日現在の推計人口は、1,310,660人で、前月(1,311,623)に比べ963人の減少となった。

市部では、大村市(59)の1市で増加し、長崎市(△372)、佐世保市(△139)、諫早市(△117)、平戸市(△59)、対馬市(△53)、西海市(△52)、五島市(△50)、南島原市(△47)、雲仙市(△36)、松浦市(△25)、壱岐市(△16)、島原市(△15)の12市で減少した。

郡部では、長与町(38)、川棚町(13)、波佐見町(5)の3町で増加し、時津町(△46)、新上五島町(△27)、佐々町(△13)、小値賀町(△7)、東彼杵町(△4)の5町で減少した。

自然動態は、出生数810人、死亡数1,378人で568人の減少、社会動態は、転入者数2,510人(県内転入を含む)、転出者2,905人(県内転出を含む)で、395人の減少となった。

### 2 世帯数

令和2年10月1日現在の世帯数は、560,938世帯で前月(561,306)に比べ368世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

## 【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…8月

1人当たり現金給与総額 266,696円  
対前月比 21.2%減少  
対前年同月比 2.7%増加

### 1 賃金

8月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は266,696円で、前月に比べ21.2%減少し、前年同月に比べ2.7%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は254,733円で、前月に比べ0.8%減少し、前年同月に比べ3.7%増加した。

特別給与額は11,963円で、前年同月に比べ、2,279円減少した。

### 2 労働時間

8月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は144.8時間で、前月に比べ5.7%減少し、前年同月に比べ1.1%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は134.4時間で前月に比べ6.3%減少し、前年同月に比べ0.9%減少した。

所定外労働時間数は10.4時間で、前月に比べ1.9%増加し、前年同月に比べ4.5%減少した。

### 3 雇用

8月の常用労働者数は210,261人で、前月に比べ0.4%増加し、前年同月に比べ7.5%減少した。

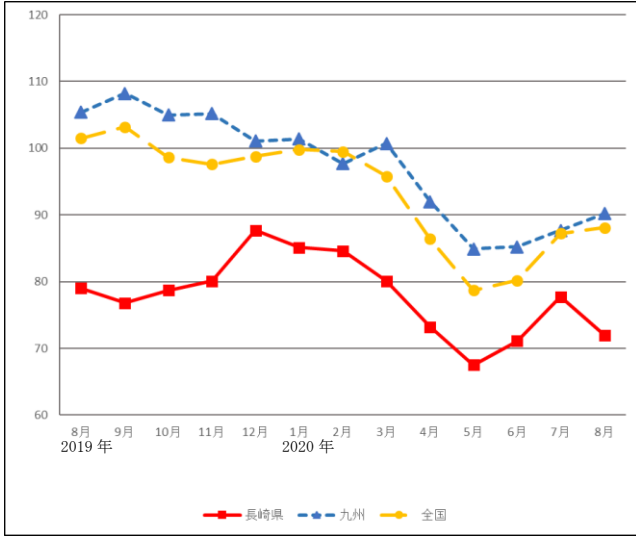
【鉱工業生産指数】…………… 8月

令和2年8月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

| 区分  | 季節調整指数 |        | 原指数  | 前年同月比(%) |
|-----|--------|--------|------|----------|
|     | 調整指数   | 前月比(%) |      |          |
| 長崎県 | 72.0   | △7.5   | 67.1 | △11.0    |
| 九州  | 90.2   | 2.9    | 83.4 | △15.4    |
| 全国  | 88.1   | 1.0    | 80.0 | △13.8    |

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



令和2年8月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が72.0で対前月比は7.5%の減、原指数は67.1で対前年同月比は11.0%の減となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、繊維工業など5業種が上昇し、輸送機械工業、電気機械工業、電子部品・デバイス工業など8業種が低下した。

○主な上昇業種

| 業種          | 前月比(%) | 前年同月比(%) | 上昇に寄与した主な品目    |
|-------------|--------|----------|----------------|
| はん用・生産用機械工業 | 65.3   | 96.8     | 鍛造機械           |
| 繊維工業        | 9.4    | △38.2    | ニット製下着・補整着・寝着類 |

○主な低下業種

| 業種          | 前月比(%) | 前年同月比(%) | 低下に寄与した主な品目 |
|-------------|--------|----------|-------------|
| 輸送機械工業      | △24.0  | △22.7    | 修繕船         |
| 電気機械工業      | △21.3  | △20.5    | 開閉制御装置      |
| 電子部品・デバイス工業 | △14.9  | △17.7    | 半導体集積回路     |

(注) 前月比は季節調整指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 9月

総合指数(H27=100) 104.1

対前月比(%) +0.4

対前年同月比(%) +0.7

令和2年9月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、104.1である。

主な上昇要因は「被服及び履物」の+6.3%、「食料」の+0.6%であり、主な下落要因は「交通・通信」の△0.8%、「光熱・水道」の△0.4%である。

前年同月比は、令和2年5月は+1.1%、6月は+0.9%、7月は+0.4%、8月は+0.2%と推移した後、9月は+0.7%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.5であり、前月比は+0.3%であり、前年同月比は+0.2%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

|         |      |
|---------|------|
| 被服及び履物  | 6.3% |
| 食料      | 0.6% |
| 家具・家事用品 | 3.0% |
| 保健医療    | 0.7% |
| 諸雑費     | 0.3% |

▽同水準の費目

|    |       |
|----|-------|
| 住居 | ±0.0% |
| 教育 | ±0.0% |

▽下落した費目

|       |       |
|-------|-------|
| 教養娯楽  | △0.3% |
| 光熱・水道 | △0.4% |
| 交通・通信 | △0.8% |

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 9月

消費支出(一世帯当たり) 329,951円

前月比 83,792円増(34.0%増)

令和2年9月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は329,951円で、前月比34.0%の増、前年同月比は14.0%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は109.7%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。